

社会を変えるために、若きリーダーが仕掛ける一手とは？

「病気のない社会」を実現する 予防ケアステーションを始動！

コスモヘルス株式会社
代表取締役
鈴木優輔氏

大学卒業後、大手自動車販売会社に入社。新入社員トップの営業成績を取る。コスモヘルスのグループ企業に入社後、個人でもチームでも売り上げトップの成績を次々に叩き出し、2017年2月からコスモヘルスの代表取締役に就任した。



人生100年時代を見据え、「予防医療」を旗印として高圧電位治療器や逆浸透膜浄水器、健康食品などを開発・販売しているコスモヘルス。わずか6年で売上高を25億円から87億円に伸ばすなど、目覚ましい成長を遂げている企業だ。昨年37歳でこの組織のトップに立った鈴木優輔社長が掲げるのは、予防医療によって病気のない社会を作るというビジョン。すでに、その実現に向けた取り組みを始めている。

長寿社会で膨らみ続ける医療費 「予防医療」で歯止めをかける

「このままでは増大する医療費によって、確実に日本の財政は破綻します」
コスモヘルスの鈴木優輔社長はそう断言する。空前の超高齢化社会に突入した日本は、昨年90歳以上の人口が初めて200万人を突破した。100歳以上も過去最高の約6万8000人になり、2050年には68万人を超えると推測される。人生100年時代といわれるゆえんだ。
「100歳を超える方が健康であればいいが、そうはいかない。超高齢者のほとんどは寝たきりになり、すでに41兆円を超えている日本の医療費はますます膨れ上がってしまう。一方、支え手となる現役世代は少子化により減少していくわけですから、いずれ日本の社会保障制度も経済も崩壊することは明らかです（鈴木社長）
医療費増大が社会の重要課題となっている状況下、解決の鍵として鈴木社長が重視するのは「予防医療」だ。
「何歳まで生きるかではなく、何歳まで元気でいられるかが大事です。健康長寿を理想とし、病気がかかってから病院や薬に頼って治すのではなく、病気になる努力をする。自分の健康は自分で守ることが不可欠なんです」

「この数年、健康維持のお手伝いをする
で守ることが不可欠なんです」
病気を予防する重要性を世に浸透させていく。それが、健康産業の一端を担う企業の使命と考え、鈴木社長が率いるコスモヘルスでは商品を普及させるだけでなく、予防医療への意識向上にも努めている。

事業を手がけてきて実感しているのは、ようやく国民が健康に関心を持つようになり、病気を予防することに目を向け始めたということです。弊社の売上が6年ほどで60億円以上も伸長したという事実が、人々の意識の変化を物語っています。今後も予防医療の分野は、どんどん伸びていくでしょう」

明確な目標として実現を目指す 病気のない街「コスモタウン」

長寿大国の日本において、健康関連業界の役割が決して小さくなくなっている今、医療費はもちろん、病気の予防で苦しむ人を一人でも多く減らしたいとの思いから、鈴木社長は「病気のない社会を作る」ことをコスモヘルスのビジョンとして掲げ、ひとつの未来図を描いている。
「それが、病気のない街「コスモタウン」構想です。この街には、予防医療を展開する『予防ケアステーション』が病院の代わりにネットワークされ、日常的に予防ケアができる。もはや医者という職業は時代遅れになり、代わりに『予防師』が『予防ケアステーション』で健康維持をサポートをするのです。また、現在弊社では、予防に目を向けた自社開発の医療機器を提供しています。『コスモタウン』では、この医療機器が一家に一台普及し、

家族全員が健康で幸せに暮らせるようになります。そして、医療費が大きく削減され、税金をより有意義に使えるようになる。そんな豊かな街を作りたいと考えています」
さらに、健康社会を作るには、予防への意識を養うことも重要であると説く鈴木社長。そのために、初等教育から変

えていきたいと力を込める。
「予防医療をカリキュラム化して学校の教科に加え、病気の怖さや予防の大切さ、命の尊さをしっかりと教える。子どもの頃から予防意識を育むことで、健康に対して態度の高い大人に成長します。日本を根本から変革するには、こうした教育が欠かせません」
病気のない街で豊かに暮らせる「コスモタウン」。鈴木社長は「この街がモデル都市となり、日本の都道府県すべてが『コスモタウン』になっていくことが究極の夢」であると語る。
この構想を明確な目標とし、全社員で共有するために、鈴木社長は「コスモタウン」のイメージ図と社訓を記した「ビジョンカード」を作成。夢を可視化したカードを全社員に配布した。社員必携のこのカードは、夢の実現を目指し、社員が同じベクトルで努力するための羅針盤となっている。



●ビジョンカード



●ビジョンカード裏面の社訓

コスモヘルスグループ

- ビジョン
病気のない社会を作る
- 社是
コスモヘルスグループ社員は高い志を持つ同志であり育て合う仲間であり互いを思いやる家族
- ガイドライン
 - I. 素直さを持ち続ける
 - II. 強い情熱を持ち続ける
 - III. 本気の夢を持ち続ける
 - IV. 諦めない心を持ち続ける
 - V. 成長するための努力を続ける
 - VI. 挑戦する意志を持ち続ける
 - VII. 常に最善の準備をし続ける
 - VIII. 一体感を上げる努力を続ける
 - IX. 理不尽のない環境を作り続ける
 - X. 社員皆が同志で仲間で家族であり続ける

「予防ケアステーション」を 日本中に展開して社会を変える

次なる課題は「コスモタウン」をいかに具現化するかだが、そのための取り組みはすでにスタートしている。それは、先に述べた地域密着型の「予防ケアステーション」を開設し、運営することだ。コスモヘルスでは、すでに「けんこうテーブル365」や「いやしステーション」と名付けた常設の「予防ケアステーション」を4店舗オープンしている。

これらの常設店では、コスモヘルスの医療機器を体験できるほか、逆浸透膜浄水器、酵素や乳酸菌といった健康食品、

有機野菜をはじめとする自然食品などを、体を総合的に健康へと導いていくためのアイテムが揃う。ただし、「ここは商品を提供するだけの場所ではありません」と鈴木社長は強調する。

「病気を防いで健康を維持したい」と思っても、病院では予防のためのケアを教えるてくれません。日本にはそうしたことを教えてくれる施設がないのです。この現状を憂慮し、予防医療を広める拠点として『予防ケアステーション』を展開し始めました。ここにはヘルスアドバイザー

が常駐し、例えば自己治癒力をどう高めるかといったアドバイスをするなど健康支援を行っています。各店舗は地域の子どもからシルバー世代まで様々な方ににぎわい、健康について気軽に学べる、健康観が変わったと喜ばれています」

社員は入社後、予防のプロフェッショナルとなるべくスキルを磨き、レベルアップしていく。そうやって成長した先にあるポジションとして『予防ケアステーション』の運営を位置づけています。例えば、地元に戻ってオープンしたり、様々な事情働き方ができる場になるのです」

「また、『予防ケアステーション』は、社員のキャリアアップの場でもあります。

「『コスモタウン』を実現し、予防医療で日本を豊かな国に変えた企業として歴史に名を刻む。そんな大きな夢を発信し続け、私を信じてくれる社員と一緒に社会を変えていきます」

予防ケアステーション



●けんこうテーブル365 都立大学店
東京都目黒区中根2-11-5 クルミビル1F ☎03-5726-9364
■営業時間/10:30～14:20、15:00～19:00
■定休日/日曜日・祝日
■交通アクセス/東急東横線・都立大学駅より徒歩4分



●いやしステーション 旗の台店
東京都品川区旗の台4-4-5 ☎03-6426-7065
■営業時間/10:00～13:00、14:00～19:00(土曜のみ～18:00)
■定休日/日曜日・祝日
■交通アクセス/東急大井町線・荏原町駅より徒歩2分
同・旗の台駅より徒歩5分



●いやしステーション 新浦安店
千葉県浦安市入船4-7-25-101 ☎047-711-3658
■営業時間/10:00～13:00、13:30～19:30(土曜のみ～17:30)
■定休日/第2第4土曜・日曜日・祝日
■交通アクセス/JR新浦安駅より徒歩7分



●いやしステーション 平塚店
神奈川県平塚市紅谷町3-23 伊藤ビル1階 ☎0463-73-8365
■営業時間/10:00～12:50、14:00～18:00
■定休日/土曜日・日曜日・祝日
■交通アクセス/JR平塚駅より徒歩2分